

### 実験風景及び回収装置等の概観

図1 商品のシュリンクラベル



図2 商品のネックタグ



写真1 商品ポップ (apris KEIHOKU)



写真2 売り場の様子 (イトーヨーカドー 網島店)



写真3 アンケート依頼中の様子 (イトーヨーカドー 網島店)



写真4 売り場の様子（京急百貨店）



写真5 売り場の様子（apris KEIHOKU）



写真6 自動回収機（京急百貨店）



京急百貨店では、地下一階食品売り場のエレベーター乗降口脇のスペースに回収機を設置した。回収機は幅 80cm×奥行き 60cm とタイトなため丁度このスペースに入った。約 20cm の空スペースには転倒防止の手当てをした。

写真7 自動回収機（apris KEIHOKU）



apris KEIHOKU では、入り口脇に回収機を設置し、回収機の脇には「2008年度 環境省ペットボトルリユース実証実験」の幟旗を立て、回収機下部には、ペットボトルのリユースを呼びかける大きなポスターを添付した。お店への入り口はここだけなので、買い物客にとっては分かりやすく、お買い物をする前に返却できるので利便性が高かったと考えられる。